



伊那ロータリークラブ



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 藤澤洋二 幹事 小松献臣 会報委員長 城取健太 第2917回例会 2020.11.12 No.1577



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21 年度 RI テーマ

Rotary Opens Opportunities

ソング 我等の生業

ビジター・ゲスト紹介 米山奨学生 サンギートさん

会長談話 藤澤洋二会長

今日は、米山奨学生のサンギートさんがお見えになっており、後程、卓話をしていただけることになっています。

サンギートさんのお国、スリランカと日本との関わりについてお話しします。

1978年から1989年の間、スリランカの大統領を務められた、J.R.ジャヤワルダナという方がおられました。ジャヤワルダナ氏は、当時蔵相であり、1951年のサンフランシスコ講和会議に、スリランカの代表として出席されました。

サンフランシスコ講和会議は、第二次世界大戦が終結し平和条約の調印が行われた会議です。日本が、敗戦国としてどのような大きな戦後賠償を求められるか、また日本が分割統治される可能性もありました。

ジャヤワルダナ氏は次のように述べました。スリランカは、日本に対して損害賠償を請求する資格があるが、我々は請求しようとは思わない、何故なら、我々は仏陀の言葉を信じているからです。その仏陀の教えとは、「憎悪は憎悪によって消え去るものではなく、人はただ慈愛によってのみ憎しみを超えられる。」ということです。

彼は、日本の自由と独立への支持を訴え、対日賠償請求権を放棄することを宣言しました。ジャヤワルダナ氏の演説が終わると、万雷の拍手が沸き起り、彼の演説が講和会議の流れを変え、日本の国際社会への復帰を後押しした、ということだそうです。

私は、このエピソードを知りませんでした。日本人であれば、心に刻んでおかなければならないことであると、考えます。

ジャヤワルダナ氏とスリランカに深く感謝申し上げたいと思います。

幹事報告 別紙をご覧ください。



出席報告 会員数54名 内出席免除15名 出席者30名 事前メールキャップ0名 出席率71.42%

ニコニコボックス

藤澤秀敬 この度、財務大臣表彰を頂きました。永年法人会の役員を務めてきたことを評価いただきました。ありがとうございました。

宮下金俊 国際奉仕・財団委員会の委員長ですが、本日欠席ですみません。どうぞ宜しくお願い致します。

平澤泰斗 11/7 伊那中央RCと合同コンペが行われました。残念ながら準優勝でした。参加していただいた皆さんご苦労様でした。

11月合同コンペ上位入賞者 優勝 宮下 裕・準優勝 笠井俊朗・1位 増田 清・2位 小松献臣・3位 藤澤秀敬

クラブフォーラム ロータリー財団月間

藤澤秀敬国際奉仕・財団副委員長

本日、ロータリー財団特別寄付と米山記念奨学会特別寄付の申込書を配付しました。寄付のご協力をお願いします。12月までに寄付送金しますと、今年の確定申告に間に合います。

中山一郎 米山奨学生カウンセラー

宮下委員長より、世話クラブとカウンセラーの役割について、卓話に先立ち話すように仰せつかりましたので少し時間を頂きます。

「ロータリー米山記念奨学会」の目的は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することです。優秀とは、異文化理解、コミュニケーション能力も含まれています。

ロータリー米山記念奨学会の大きな特長は、世話クラブとカウンセラー制度による支援です。我々も、彼にロータリーを通して、日本の文化、習慣などに触れ、



将来国際平和の創造維持に貢献してもらいたい。そのためには、彼個人の生活や学業、彼の国に常に関心を持ち続けることが一番大切だと思っています。

彼は、現在信州大学の博士課程3年で、研究テーマは「栽培環境がトウガラシ辛味成分含量等に与える影響およびその関連遺伝子発現」です。指導教官松島憲一准教授のお墨付きの優秀な院生で、現在は単身で研究に明け暮れています。その結果、博士論文2本の内、1本は通過し、もう1本ももうすぐ通過予定です。3月には卒業し、念願の母国の農業への貢献で、一步踏み出す予定です。

彼との会話の中では、常に「発展途上の母国から日本へ来て学び、得た知識を母国へ持ち帰り、国の発展に尽くすと共に、日本との友好の架け橋になりたい」という志がいつも伝わってきます。

その現れとして先ほど、このようなメールを受け取りました。(第2780地区 相模原橋本 RC 吉水様からのメールを紹介)「当クラブでは、毎月1回を目標に我がまち橋本の駅前清掃活動を行っております。10/25に実施した第48回活動の際にアップした記事をご覧いただいたサンギートさんより、母国へ帰国した際に彼のグループで清掃活動を行いたいので応援してほしいといった内容のメッセージを頂きました。

2度目のメッセージで、貴クラブが世話クラブとなっている米山奨学生ということを知りました。まずは貴クラブでカウンセラー担当者様に相談をしていただくのが良いのではないかと、その旨をサンギートさんにお伝えいたしました。明日の例会に参加されるとの事でしたので、サンギートさんの母国の環境に対する思いをお聞きいただければ幸甚に存じます。」この件に関しては先ほど会長幹事委員長に報告しました。

話は飛びますが、世話クラブとしては、彼に日本の事を知ってもらうだけでなく、我々も彼の国に関心を持たなくてはなりません。

先ほど会長談話で日本とスリランカの関係、是非日本人として知っていただきたい第2次大戦後の戦勝国による日本に対しての賠償と領土放棄について決められたサンフランシスコ講和会議でのスリランカ代表故ジャヤワルダナ元大統領の発言ですが、私は日本の教科書に載せて忘れない様にしないとイケない史実だと思っています。

卓話 米山奨学生 サンギートさん

演題「日本へ留学して感じたこと」

日本という国は、とても美しいと聞いていました。それに自国のスリランカとも仲が良いこともあり、いつか日本に行って文化を体験することが私の夢でした。



日本で過ごした5年半で沢山の興味深いものをみました。日本の良いところと感じたのは先ずゴミ処理システムです。日本では日常におこなわれている、ゴミを分別して処理することがスリランカではあまり見られません。山に登っても日本の山にはゴミがありませんが、スリランカの山には山頂にゴミが溜まっていることがあります。

次に「挨拶」です。朝起きてから就寝まで、職場での始業・終業時まるでシステムがあるかのように挨拶をするのです。スリランカではこのようなことはありませんでした。

私はスリランカから成田空港に降り立ちました。驚いたのは成田空港の周りに畑が多かったことです。日本の国土は約66%が森林で市街地は道路を含めても約8%程度です。町が小さくその周りに森が広がっている、スリランカとは逆の状況です。そんな環境で世界のトップと言われるのは凄いことです。

日本に来て初めて地震を体験しました。スリランカでは災害といえば大雨しかないのですが、日本には地震・台風等多くの災害がおきます。しかし日本では災害で被害を受けた地域の復興の速さに驚いてしまいました。

野菜に関してはスリランカと比べると値段がとても高いです。それに野菜の料理方法の違いはありましたが、日本の料理とお酒はとても美味しくまた、美しい景色も堪能させていただきました。この素晴らしい日本の文化を伝える為にスリランカに帰って旅行会社の設立も考えています。

私はスリランカで”The green クラブ”を作りました。スリランカの小学校の校舎は建物がしっかりしておらず、教科書を買えない児童が多いです。また、30%の児童が朝食を食べていません。私は、貧しい子供たちに勉強道具等を支援したいのです。

スリランカの小学校では掃除は教えていません。私は”The green クラブ”を通じて日本のように地域を綺麗にする文化を伝えていきたいと考えています。そして色々な宗教の聖地であるスリーパーダに登りゴミを片付け綺麗にしたいと思います。

来年の3月に大学を卒業予定です。スリランカに帰って大学の先生になり、日本で学んだことをスリランカで教えるために頑張ります。また良いチャンスがあれば日本に来たいと思います。